

14 柔 道

- 1 期 日 令和4年7月30日(土) 7月31日(日)・8月1日(予備日・月)
 <7月30日(土)> 団体戦(男・女)
 受付 午前9時00分～9時45分
 (受付・計量はこの時間外は認めない)
 ※顧問・監督及び監督者が受付を済ましてください
 計量 午前9時15分～10時00分 (4(3)参照)
 審判・監督打合せ 午前10時15分～10時35分
 開会式 午前10時40分
 <7月31日(日)> 個人戦(男・女)
 受付 午前8時45分～9時15分 (厳守)
 計量 午前9時00分～9時15分 (4(3)参照)
 審判・監督打合せ 午前9時30分～9時50分
 試合開始 午前10時05分
- 2 会 場 愛知県武道館
- 3 参加人員(5・6参照)
 団体戦 男子1校1チーム(監督1名、選手5名、補欠2名)
 女子1校1チーム(監督1名、選手3名、補欠1名)
 個人戦 男子8階級、女子8階級
- 4 競技上の規則および方法
 - (1) 審判規定は、国際柔道連盟試合審判規定(2022年4月1日より施行)・国内における「少年大会特別規定(2022年1月24日改正)」で行う。
 - ① 試合時間は、団体戦・個人戦共に3分間とする。3回目の「指導」が与えられた時点で「反則負け」とする。延長戦(ゴールデンスコア)は、時間無制限とする。抑え込みのスコアは、技有10秒、一本20秒とする。
 - ② 個人試合及び任意の選手によって行われる団体戦の代表戦は、「一本」「技有」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。直接もしくは累計による「反則負け」を除き、「指導」(1回目)の違いだけでは勝者は決定しない。「指導」は、相手のスコアにならない。
 - ③ ゴールデンスコアについては、規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」差1以下の場合、その試合はゴールデンスコアに突入する。ゴールデンスコアに入る前の規定試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。スコアが与えられた時点で、ゴールデンスコアは直ちに終了する。ゴールデンスコア中に「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了する。
 - ④ 団体試合の個々の試合の優勢勝ちの判定基準は、技の評価は「技有」以上とするが、技の評価が同等の場合、「指導」差が2以上開いたとき、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。「指導」差が1以下の場合、「引き分け」とする。代表戦は、任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝負の決定方法は個人戦と同様とする。
 - (2) 試合方法
 【団体戦】
 - ① トーナメント方式とする。
 - ② 勝負は、勝数の同じ場合は、内容により決定する。(①「一本」・「反則勝ち」②「技有」③「僅差」)内容も同じ場合は「引き分け」とし、任意の選手による代表戦を一回のみ行う。
 - ③ チーム編成は、最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。
 (参加申込書に体重を記入する。)
 - ④ 選手の交代は、届出の補欠をもってあてる。この場合も、順次体重順の編成とする。いったん交代した選手は、再び出場できない。

【個人戦】

① 階級別トーナメント方式とする。

② 体重別階級は、次のとおりとする。

- | | | |
|----|---------------------------|---------------------------|
| 男子 | ○ 50 kg級 (50 kg以下) | ○ 55 kg級 (50 kg超～55 kg以下) |
| | ○ 60 kg級 (55 kg超～60 kg以下) | ○ 66 kg級 (60 kg超～66 kg以下) |
| | ○ 73 kg級 (66 kg超～73 kg以下) | ○ 81 kg級 (73 kg超～81 kg以下) |
| | ○ 90 kg級 (81 kg超～90 kg以下) | ○ 90 kg超級 (90 kg超) |
| 女子 | ○ 40 kg級 (40 kg以下) | ○ 44 kg級 (40 kg超～44 kg以下) |
| | ○ 48 kg級 (44 kg超～48 kg以下) | ○ 52 kg級 (48 kg超～52 kg以下) |
| | ○ 57 kg級 (52 kg超～57 kg以下) | ○ 63 kg級 (57 kg超～63 kg以下) |
| | ○ 70 kg級 (63 kg超～70 kg以下) | ○ 70 kg超級 (70 kg超) |

(3) 計量

ア 団体戦 (男女とも) 7月30日 (土) 午前9時15分～10時00分

イ 個人戦 (男女とも) 7月30日 (土) 午前9時15分～10時00分

7月31日 (日) 午前9時00分～9時15分

(注)・ 計量時間を厳守のこと。上記時間以外は失格とする。

・ 個人戦出場の選手は、7月30日・7月31日のどちらかでパスすればよい。

・ 計量時の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。

なお、下着の着用は認めるが、包帯・サポーターなどの着用は一切認めない。

※ 別室計量について

①必要な選手は申し出る。

②係の判断により必要と認められた選手は係から指示されることがある。

ウ 体重が適合しない場合は失格とする。無理な減量は行わない。

(4) 国際柔道連盟審判規定 (2018年4月1日より施行)・国内における「少年大会特別規定」への移行のため、特に次の点に留意する。

① 以下の場合については、「反則負け」の罰則が与えられる。

ア 柔道精神に反する行為をした場合には、直ちに「反則負け」を与えられる。

イ 攻撃・防御において、故意に相手の関節を極めた場合には「反則負け」が与えられる。

ウ 「逆背負投」(通称)の様な技を施した場合には「反則負け」が与えられる。

エ 両袖を持って技を施すこと。

② 以下の場合については、「指導」の罰則が与えられる。

ア 標準的でない組み方の場合、直ちに攻撃しなければ「指導」が与えられる。

イ ベアハグ(投げるために相手に抱きつく行為)を行う場合は、攻撃する選手が少なくとも片方の組み手を持っていなければならない。組み手のない状態において両手で相手に抱き着く行為には「指導」が与えられる。(柔道衣に触れただけでは組んでいるとはみなさない。しっかり柔道衣を握っていること。)

ウ 相手の袖の中に指を入れる行為は、今まで通り「指導」を与えられる。

エ 攻撃をしようとしなない、防御姿勢など柔道精神に反する消極的な行為に対しては厳しく「指導」が与えられる。

オ 投技を準備するのに時間がかかることもあるため、組んでから攻撃を掛けるまでの時間を45秒に延長し、それまでに技がない場合には「指導」が与えられる。

カ 立ち姿勢で相手の背部又は帯を握り続ける行為には「指導」が与えられる。

キ 両膝を最初から畳について背負投等を施す行為には「指導」が与えられる。

ク 無理な巻き込み技を施す行為には「指導」が与えられる。

ケ 相手の頸を抱えて大外刈、払腰を施す行為には「指導」が与えられる。

コ 関節技及び締技を用いた場合には「指導」が与えられる。

サ 脚を掴む行為や下穿きを握る行為については、指導が与えられる。

③ その他について

ア 変則の組み手[クロスグリップ、片襟、帯を握る行為、ピストルグリップ、ポケットグリップ等]は、直ちに攻撃しなければ指導が与えられる。

イ 寝技の攻撃・防御において、脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断したときは「待て」とする。

(5) 競技役員は、運動部会で決定する。

(6) 組合せは、運動部会で代理抽選によって決定する。

5 参加校の選出方法

支所大会、支部大会の予選を行う。

- 団体戦 男子 名古屋支部 6 チーム、東三河支部 6 チーム、西三河支部 6 チーム、東尾張支部 (愛日 3 チーム・知多 5 チーム)、西尾張支部 6 チーム
女子 名古屋支部 4 チーム、東三河支部 6 チーム、西三河支部 6 チーム、東尾張支部 (愛日 4 チーム・知多 4 チーム)、西尾張支部 8 チーム

個人戦 男女とも

各階級名古屋支部 8 名、東三河支部 4 名、西三河支部 4 名、東尾張支部 (愛日 4 名・知多 4 名)、西尾張支部 4 名
愛知県中学生体連別柔道大会で、上位 4 位に入賞した地区が、4 つの出場枠を得る。

6 参加資格

第 76 回愛知県中学校総合体育大会実施要項第 5 項による。

7 参加料

(1) 参加選手 [大会申込書に記入された選手] 一人につき 1,000 円とする。

※ 団体戦と個人戦の両方に出場しても 1,000 円

(2) 参加料は、原則として、県大会参加申込書を各支部の運動部員代表に提出する際に併せて納める。ただし、各運動部で提出日・提出方法が定められている場合は、それに従う。

8 引率者・監督・コーチ

(1) 参加生徒の引率者・監督は当該校の教員とする。

(2) 引率者・監督がない場合は、出場できない。

(3) ベンチ入りするコーチは、当該校の教員以外の者でもよい。ただし、成人であり、校長の承認した者で、当該校にあって継続的に指導を行っている者とする。ベンチ入りする時は愛知県中小学校体育連盟作成のコーチ証をつける。

(4) 当該校の教員以外の者をコーチとしてベンチ入りさせる場合は、コーチ確認書 (校長承認書) を大会参加申込書と一緒に提出する。

(5) 審判員に準じた服装をする。

(6) コーチは 1 チーム 1 名とする。他校とは兼ねてはならない。

(7) 監督・コーチは、「試合場におけるコーチの振る舞いについて」の規定を厳守すること。

9 表彰

第 76 回愛知県中学校総合体育大会実施要項第 8 項による。

10 申込方法

(1) 第 76 回愛知県中学校総合体育大会実施要項に基づき、柔道部が指定する様式で申込書を作成し、各支部運動部代表に提出する。

(2) 各支部運動部代表への提出期限は、7 月 21 日 (木) とする。

(3) 団体戦の場合、申込期日後でもやむをえず参加できない選手の補充は、選手変更届を当日本部に提出すれば認められる。

(4) 別様式については、愛知県中小学校体育連盟のホームページに掲載する。

11 その他

(1) 柔道衣・帯は、(公財) 全日本柔道連盟発出通知「本連盟主催大会における柔道衣新規格の取り扱いについて」に基づいた規格の柔道衣・帯の着用を義務付ける。(新規格の赤色のマーキングのもの)

(2) ゼッケンの着用

柔道衣背部にゼッケン (学校名・名字入り) を着用して試合をする。(例を参照)

① 布地は白色 (晒、太綾)

② サイズは 横 30~35 cm 縦 25~30 cm

③ 名字 (姓) は 上側 2 / 3

④ 学校名 下側 1 / 3

⑤ 書体は太字ゴシック体 (明朝、楷書でもよい)

男子は黒色、女子は濃い赤色

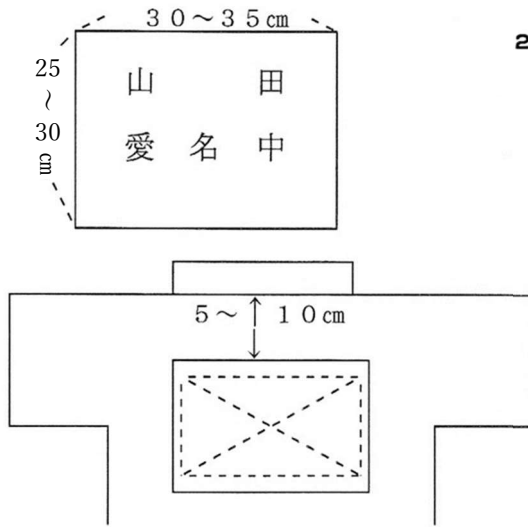
⑥ 縫い付けの場所は、後ろ襟から 5~10 cm 下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

⑦ 女子は上衣の下に、白色又は白に近い色の半袖で無地の T シャツかレオタードを着用する。

※ T シャツのマーキングについては、(公財) 全日本柔道連盟が定める規定 (平成 25 年 4 月 1 日より施行) に準ずる。

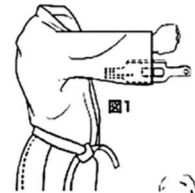
(柔道衣のサイズ) (帯)

【例】



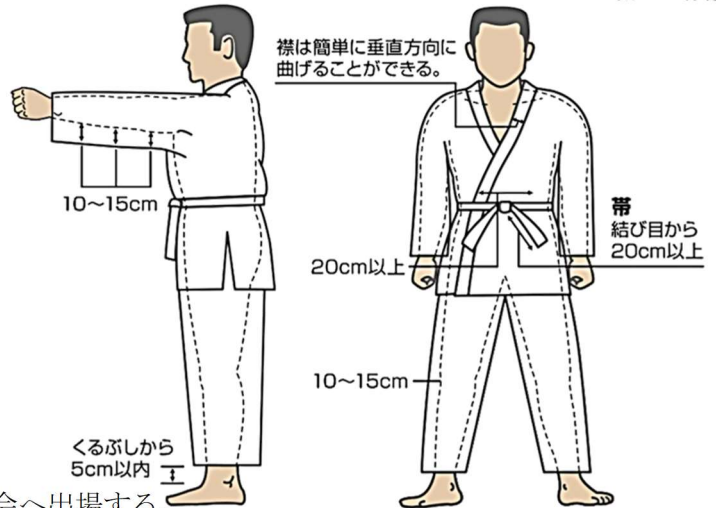
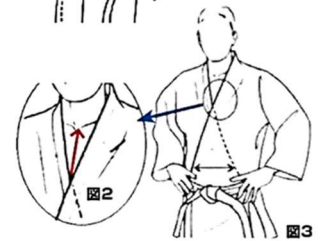
1.コントロール面

- 袖は、柔道衣コントロールを受けるときの高さまで上げた時、手首を含め柔道衣に覆われていなければならない。(右記の図1参照)
- 胸骨の一番上から襟の重なりあう部分まで垂直で10cm未満でなくてはならない。(右下記の図2の矢印の部分が10cm未満)
- 上衣の併せ目で下襟の長さが、水平で少なくとも20cmなくてはならない。(右下記の図3の矢印の部分が最小20cm)



2.規格面

- 柔道衣の素材と襟の幅が変更になる。
- 上衣の1㎡あたりの重量は、現行の700g~1,000gから650g~750gに変更となる。
- 襟幅は最大4cmとする。また襟は、4筋縫いであること。
- 襟は簡単に垂直方向に折り曲げることができる。



- (3) 団体戦男女優勝校は、全国中学校柔道大会へ出場する。
- (4) 個人戦各階級の優勝者は、全国中学校柔道大会へ出場する。
- (5) 団体戦男子の上位4校は、東海中学校総合体育大会へ出場する。
- (6) 団体戦女子の上位2校は、東海中学校総合体育大会へ出場する。
- (7) 個人戦男子の各階級上位4名は、東海中学校総合体育大会へ出場する。同女子の各階級上位2名は、東海中学校総合体育大会へ出場する。
- (8) 組合せ会は、7月28日(木)午前9時30分 愛知県教育会館で行う。
- (9) 大会に関する問合せは、愛知県中小学校体育連盟事務局 (Tel052-251-8114) とする。

会場の住所・電話番号

会場の住所・電話番号

愛知県武道館

住 所 名古屋市港区丸池町1丁目1-4

電 話 052-654-8541

交通機関

地下鉄/名城線 「東海通」下車→市バス「河合小橋」「両茶橋」「サンビーチ日光川」
「中川車庫」行き『競馬場東』下車、徒歩5分

地下鉄/東山線 「高畑」下車→市バス「港車庫前」行き『武道館』下車すぐ

三重交通バス/名鉄バスセンター(3階2番乗り場)から
「南陽町藤前」「名四經由長島温泉」行き『武道館前』下車すぐ

市バス/名鉄「神宮前」(5番乗り場)から
「多加良浦」「河合小橋」「中川車庫前」行き『競馬場東』下車、徒歩5分

あおなみ線/「なごや競馬場」下車、徒歩15分